

インフラ整備完了で住みたい街へ！！

- 当麻宿地区は、さがみ縦貫道路相模原愛川インターチェンジ周辺地区という立地特性。
- 産業を中心とした複数の都市機能による環境と共生した「新たな都市づくりの拠点」を形成するため、**市街化調整区域を市街化区域へ編入**（約35.0ha）し、まちづくりエリアには**下水道を整備**。
- 衛生的な住環境を提供することで、**街の魅力を向上し、居住人口の増加を図る**。

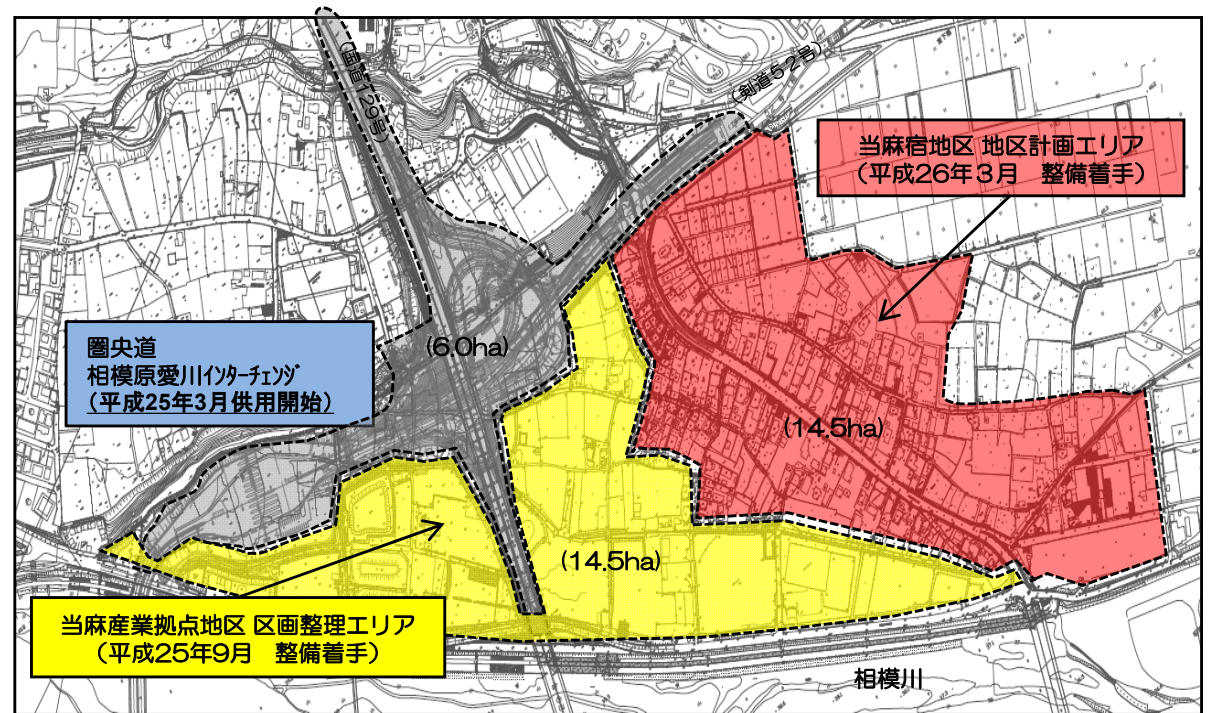
エリアの一部（当麻産業拠点地区）では、

土地単価 43,000円/m² ↑
宅地総価格 約30億円 ↑

（H24時点と下水道事業及び区画整理事業完成予定のH32時点の土地評価額との比較）

下水道の整備を含むインフラ整備によって、

土地の魅力アップが始まっている！



人口約7,000人
 （麻溝地区公民館区域内）

6,800人の増加
 （相模原市下水道基本計画より）

13,800人
【H42完了予定】